

# 大地震各地で頻発！ 相模原は大丈夫か？

6月議会の一般質問が6月11日より3日間行われ、私は都合3回目の一般質問に初日の3番目に登壇。

今回は、前回の一般質問に引続き防災対策の内、市民の命に大きく関係する案件についてさらに深く掘り下げた。

5月12日に中国で四川大地震が発生し、一般質問終了後の6月14日には岩手・宮城内陸地震が発生する中で、地震対策の重要性を質した。

また、さがみ縦貫道路のインターチェンジ周辺（当麻地区・城山地区）の産業用地の創出と物流機能の集積策について質問した。

運営協議会の設立に向け、避難所ごとに聯合させをする参加者  
＝相模原市富士見6丁目のウェルネスさがみはら



## 円滑な避難所運営へ 協議会設置向け合同会議

相模原

地震など大規模災害で被災した相模原市民の生活拠点となる避難所の運営を円滑に実施するため、運営協議会の事前設置に向けた合同会議が二十八、二十九の両日、四市四区で開かれた。（佐藤 幸平）

旧市域では、小中学校八十一校が避難所に指定されているが、既に運営協議会を足さず運営困難なるを懸念しているのは四市四区にまたがっている。合同会議は、他の避難所にも運営協議会の設立を促す狙い。

### 大規模災害に備え

その後、参加者は各所属（区）に分かれてグループ会議を行い、自己紹介をしながら、設置に向けたスケジュールなど話し合った。上野原市自治会の森山武大会長（64）は「これまでは現実的な準備は少なかったもので、これを機に真剣に考えていきたい」と話していた。

12月議会での私の質問を契機に災害時に避難所が速やかに開設運営ができるように、市内の小中学校避難所82校での運営協議会の事前組織化が始まりました。  
6月30日の神奈川新聞より

\*一般質問はインターネット中継されています。検索は、相模原市議会中継→録画放映→6月11日（大槻和弘一般質問）をご覧ください。  
\*ホームページのブログで活動を報告しています。  
<http://www.dondoko.st/>

### 6月議会一般質問項目

1. 大規模地震に立ち向かう防災対策
  - (1) 耐震改修促進計画の実効性
    - ア. 戸建住宅と共同住宅の耐震化の促進策
    - イ. 小中学校の耐震化の状況
    - ウ. 市有公共建築物の耐震化の状況と改修計画
    - エ. 市営住宅の耐震化
    - オ. 病院、社会福祉施設、デパートなど「特定建築物」の耐震促進策
    - カ. 倒壊による通行障害の原因となる建物の耐震促進策
    - キ. 津久井地域の国・県道や橋梁の耐震化状況と孤立化対策
  - (2) 避難所運営体制の事前組織化への取り組み
  - (3) 自主防災組織の現況と活性化
2. 物流機能の集積誘導施策について
  - (1) さがみ縦貫道路の持つ機能を生かした交通ネットワークの形成
  - (2) さがみ縦貫道路インターチェンジ周辺への物流機能および広域物流ハブ機能の集積誘導促進
  - (3) 物流機能施設の集積促進支援策

どんどこきすく  
「新さがみはら」

皆様の声をお聞かせ下さい。地域に密着した活動を続けてまいります。

地域には、様々な課題があります。気がついても放っておけばいつまでもそのままです。これまでも道路や防犯・防災・福祉などの課題を戴き取り組んでまいりました。大きなこと些細なこと、いろいろな困り事をお話下さい。私にできることは積極的に取り組んでまいります。地域や自治会などと連携してみんなで考え解決への方策を見つけ、実行していくのが私の姿勢です。

相模原市議会議員 大槻和弘